

とちりハ通信

とちぎリハビリテーションセンター

もくじ

- ◆各部の近況
『とちりハ病院研修会』を開催しました …… 1
平成25年度とちぎリハビリテーションセンター
利用者満足度調査結果 …… 1~2
- ◆連載 …… 3
検査科より（第3回）
検査科だよりVol.3
診療部より（第3回）
自閉症スペクトラム障害（新）と
広汎性発達障害（旧） ~小児科~
- ◆インフォメーション …… 4



第45号 2014. Mar

◆各部の近況 —各部の実施した行事、イベントなどをお伝えします—

管理部

『とちりハ病院研修会』を開催しました

昨年12月2日（月）に平成25年度『とちりハ病院研修会』を開催しました。今年度は「新国民病“ロコモ”とは？」をテーマに星野雄一所長はじめ、雨宮昌栄整形外科医長、藤平淳一理学療法科長がそれぞれ講演を行いました。介護保険や健康増進事業に従事され、寝たきり予防等に取り組まれている職種の方々など145名の参加がありました。

星野所長の「今、なぜ、ロコモ」をテーマにロコモティブシンドロームの概論についての講話の後、雨宮医長が「関節疾患とリハビリテーション」をテーマに運動器の障害としての整形学的疾患についての講話を行い、最後に藤平理学療法科長が「ロコモを防ぐ運動」として実技を交えた講話で、参加者に実際に動いてもらうなど今後の活動に活かしてもらえよう研修会となりました。



今後とも、当センターの専門性を活かし、地域の支援者の方々へのノウハウの還元や情報提供を意識した研修会を企画していきたいと思えます。

研修会へのご意見やご要望は随時受け付けていますので、医事栄養課までご連絡をお願いいたします。



平成25年度とちぎリハビリテーションセンター利用者満足度調査結果

とちぎリハビリテーションセンターでは、よりよいサービスの提供を目指して、ご意見箱の設置等により、日頃から皆様のご意見・ご要望をいただき、センター運営の参考とさせていただきます。本調査は、病院部門の運営改善や職員の意識改善の参考とするため、毎年度実施しており、今年度は26年1月に外来患者244名、入院患者62名からいただきましたアンケートの集計結果の概要（数値は5点満点の平均得点）を報告いたします。

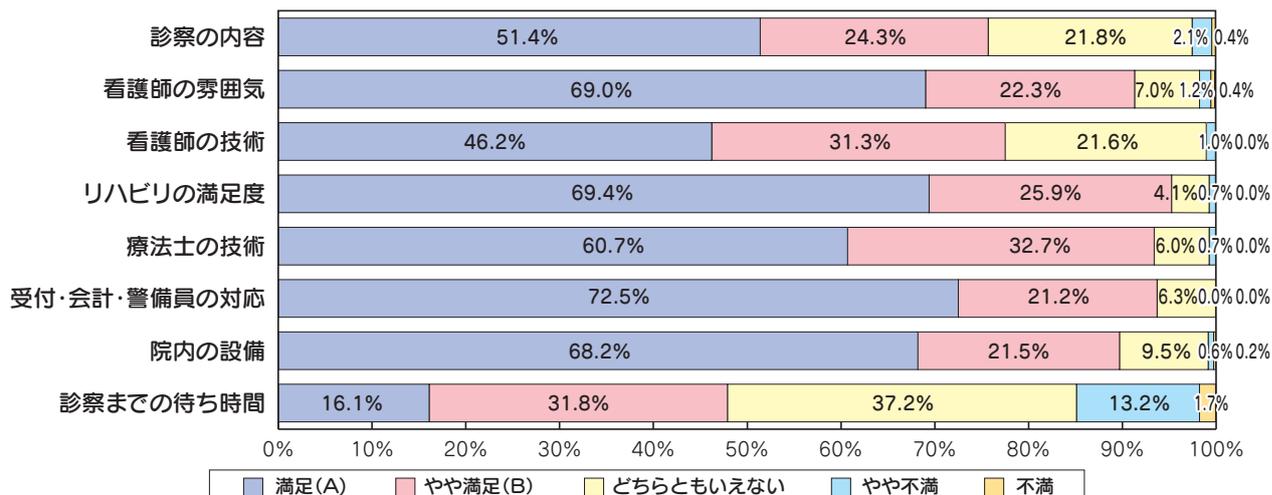
①外来患者のサービス満足度

質問20項目のうち19項目が4.0以上でした。全体では4.4と、昨年度の4.4と同じ結果でした。特に【療法士の言葉づかい】【受付・会計・警備員の対応】【院内の清掃】が4.7と最も高い評価でした。続いて【看護師の話しやすさ】【リハビリの満足度】【自身のリハビリ意欲】【トイレ・洗面台】が4.6でした。

一方、最も得点が低いのは【診察の待ち時間】で3.5となり、昨年度の3.5と同じ結果でした。多くの患者が受診されているため、待ち時間の短縮を図ることは難しいものがあります。このことを受け、患者・ご家族の方における待ち時間の過ごし方について、センターとして考えていきたいと思えます。

管理部

外来の満足度

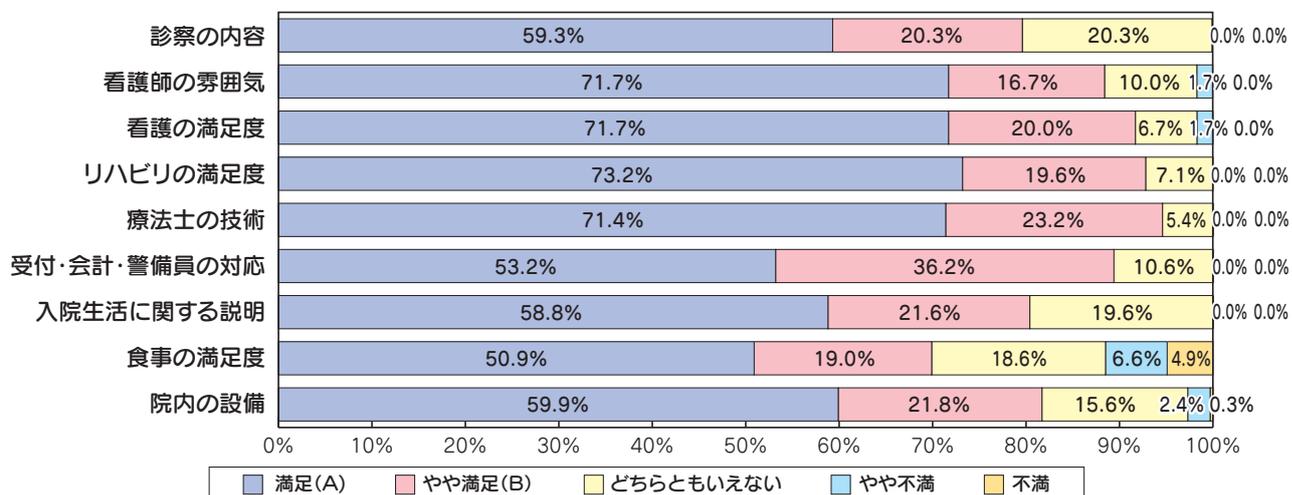


②入院患者のサービス満足度

質問30項目のうち28項目が4.0以上でした。全体では4.4と、昨年度の4.4と同じでした。中でも【栄養士の対応】が5.0と最も高い評価でした。続いて【療法士の言葉づかい】【自身のリハビリ意欲】が4.8、【看護師のプライバシーの保護】【リハビリの満足度】【リハビリ技術】が4.7と続いています。

得点が低い項目は、【食事の味について】の3.8、【食事のメニューについて】の3.9であり、食事全体でも4.0と昨年度の4.1を0.1下回りました。食事についてはカロリー計算や塩分、糖分等の調整が必要となりますが、メニューや味に満足いただけることが重要と受け止め、引き続き改善を図っていきます。

入院の満足度



アンケートにご協力いただきました皆様には、お忙しいところ誠にありがとうございました。ご意見等は眞摯に受け止め、十分検討し、改善できるよう努力してまいります。今後とも、ご満足のいただけるようセンター全体で取り組んでまいります。

検査科より（第3回）



○検査科だより Vol. 3

血液型は赤血球の表面にある抗原によって決まります。一般的によく知られているABO式やRh式血液型のほかにも多くの型に分けられます。リハセンター検査科での血液型検査はABO式血液型とRh式血液型としてD抗原の検査を実施しています。その他の特殊な血液型（不規則抗体）は院外検査となっています。

日本人のABO式血液型構成はA型40%、O型30%、B型20%、AB型10%です。一般的にまじめなA型、マイペースなB型、おおらかなO型、個性的なAB型と言われていますが、科学的根拠は全くありません。しかし近年、ABO式血液型について科学的根拠を持った個々の特徴が明らかになってきました。

冬季になると急性胃腸炎を起こすノロウイルスが猛威をふるいます。ノロウイルスは汚染された手や食品を介して人体に入り、下痢、吐き気、嘔吐などをきたすウイルスです。現在、遺伝子検査や迅速キットで容易に確定診断できるようになり、集団発生を起こす病原体として注目されています。リハセンターでも迅速キットを使用し15分で判定可能です。このノロウイルスの何が血液型と関係があるのでしょうか。

最近の研究によればノロウイルスによる急性胃腸炎のかかりやすさには個人差があり、血液型が重要な因子らしいことがわかってきました。ウイルスはヒトの細胞にくっついて入り込み、自分の遺伝子を増やします。ノロウイルスは細胞にくっつく足場として何と、赤血球の表面にある血液型抗原を使っているのです。血液型のうちO型およびA型がもっとも症状が出やすく、逆にB型の人は、感染しても症状が出にくいといわれています。しかし、ノロウイルスは非常に多くの種類があり、定期的に遺伝子の型が変異するので、生まれつき、どのノロウイルスにも感染しないヒトはいないと推測されています。

ノロウイルスはとても感染力の強いウイルスです。極少量（数10個～100個）で感染し、感染性胃腸炎を引き起こすといわれています。感染を予防するのに最も重要で効果的な方法は「流水・石鹸による手洗い」です。手洗いはあらゆる感染症に対して有効ですので、ノロウイルスの流行する冬場だけに限らず、常に手を洗う習慣を身につけましょう。まじめでマイペースで個性的な検査科臨床検査技師からのお願いです。

診療部より（第3回）

○自閉症スペクトラム障害（新）と広汎性発達障害（旧） ～小児科～

昨年度、さまざまな精神疾患の診断基準の世界的スタンダードと呼ばれる基準が、アメリカ精神医学会によりDSM-IVからVに改訂されました。それに伴い、これまで使用してきた診断名が変わる可能性があります。日本版の校正が整い次第順次運用されますが、現状は両者の併用という形です。

人とのかかわりのスキルに関する課題（感情の共有、対人距離、場に合わせた言動などの難しさ）、意思疎通の手段としてのコミュニケーションの使い方の課題（台詞的な無機質な言葉、年齢に不相应な言葉使い、一方向的な発話など）、常同性に関すること（同じ行動や手順を繰り返す、場面の切り替えにくさや融通の利きにくさ、興味関心が狭く限定的、感覚の過敏や鈍さなど）の特徴がある一群を指します。

発達障害を代表する中核群であり、彼らは適切な支援の中で成長、生活していく必要があります。外界をどのような形で捉えているのか…一般的な感覚とは違う、視覚優位で、焦点が絞られ、入るもの入らないもののコントラストが大きいと考えれば理解がしやすいと思います。刺激が多い場所、人間が多い場所などで負荷がかかるため、時に刺激を調整しながら、その場に合ったスキルを具体的に示し、行動化ではなく言語化、なるべくバリエーションが多く見通しの立ちにくい生活環境を避けるなどの工夫が必要です。

早期に療育的なアプローチをしていくことで、彼らが成長しやすい糸口を見つけ、先の支援を明確に作り上げるのが可能となるでしょう。

◆インフォメーション

平成26年度「とちりハ病院研修会」 出前講座のお知らせ

患者さんの退院後における生活の質の向上や早期の社会復帰を促進するため、入院医療から在宅医療や介護保険サービス等に移行できるように、当センター病院スタッフが持っている医療情報等を地域に還元し、支援することを目的に出前講座を実施しております。講座内容、申し込みについては、当センターのHPに掲載しますので、ご覧ください。

○身体障害者巡回相談のお知らせ

主に身体障害者手帳をお持ちの方(肢体不自由)を対象に、医師・リハビリ専門職・保健師などが相談に応じます。医学的な相談、補装具の相談、手帳取得や等級変更に関する相談、リハビリ相談などに対応します。

開催日	開催市町	開催場所	時間	申し込み方法
6月12日(木)	下野市	下野市保健福祉センター	14時 ～ 16時	要予約。 お住いの市町の障害者福祉担当課にご連絡ください。
7月2日(水)	矢板市	矢板市保健福祉センター		
8月20日(水)	真岡市	真岡市総合福祉保健センター		
9月25日(木)	足利市	安足健康福祉センター		
10月以降	* 詳細が決まり次第、栃木県HP等に掲載します。			

* 事情により会場・開催日時等が変更となる場合もございますので、必ずご予約の上ご来場ください。

○平成26年4月から新たにペースメーカーや人工関節等を入れた方に対する身体障害者手帳の認定基準が変わります

	平成26年3月31日まで	平成26年4月1日から
ペースメーカー等を入れた方	一律1級に認定	1級、3級、4級のいずれかに認定
人工関節【股関節・膝関節】	一律4級に認定	4級、5級、非該当のいずれかに認定
人工関節【足関節】	一律5級に認定	5級、6級、非該当のいずれかに認定

平成26年4月1日以降の申請から新たな認定基準の対象になります。(現在お持ちの手帳の変更はありません。)

ただし、平成26年3月末までに身体障害者診断書・意見書が作成された方については、同年6月末までに市町に申請すれば従来の基準で認定されます。

編集後記

血液型と性格については慣れ親しんだお話ですが、血液型とノロウイルスの関連性は意外なお話ですね。連載にありますとおり、この時節はなにかと病気が流行するので、手洗い・うがいをしっかり行いましょう！

(発行) とちぎリハビリテーションセンター 総務企画課

〒320-8503 宇都宮市駒生町 3337 - 1

TEL.028-623-6101 FAX.028-623-6151

URL <http://www.rhc.pref.tochigi.lg.jp/index.html>